

代表者名	藤井 英雄	所管部課名	農林水産部水産漁港課
所在地	男鹿市船川港台島字鶴ノ崎16	設立年月日	平成4年10月16日

【沿革及び県の出捐理由】

栽培漁業の推進に関する事業を行うことにより、水産資源の維持増大及び漁業経営の安定を図り、もって漁業の振興に寄与することを目的に、県等の出捐で平成4年10月に設立した。

【出捐者】（25年度当初）

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	250,000	49.9
市町村	8	75,000	15.0
その他	5	176,500	35.1
計	14	501,500	100.0

【事業】

①主たる業務

- ・アワビ、クルマエビ、ヒラメ種苗の生産及び供給
- ・マダイ、ヒラメの中間育成・放流
- ・ガザミ種苗の斡旋事業

②事業実績

(千尾・千個)

事業名等	22年度	23年度	24年度
アワビ	720	725	743
マダイ(放流)	623	632	613
ヒラメ(放流)	312	223	225

③24年度事業概要及び25年度事業計画・目標

- ・24年度事業：アワビ種苗を除いては、県の第六次栽培漁業基本計画の生産目標数以上の実績を上げた。アワビ種苗は、配布数の約85%を自前生産したが、残りを県外からの移入により需要に応えた。
- ・25年度事業：アワビ種苗を除いては、引き続き基本計画の生産目標達成を目指すとともにすべての需要に応える。アワビ種苗は、配布数のうち自前の生産率を約90%まで向上させながらすべての需要に対応し、引き続き本県の栽培漁業の推進に寄与する。

【組織】

①役員数 (H25.7.1現在)

(人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県退職者				
内、県職員				
非常勤		10		3
内、県退職者				
内、県職員		2		
計		10		3
内、県関係者		2		

②職員数 (H25.4.1時点)

(人)

正職員	3	正職員 平均年齢	正職員 平均勤続年数
内、県退職者	1		
出向職員		51.3歳	13年
内、県職員			
臨時・嘱託	9	平成24年度正職員平均年収	5,182千円
内、県退職者			
計	12		
内、県関係者	1		

役員報酬支給対象者数(平成24年度)	人
役員報酬支給対象者平均年齢	歳
平均役員報酬額(平成24年度)	千円/年

【財務】

①損益状況 (24年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	79,132
受託事業収入	17,912
補助金収入	4,730
自主事業収入	45,900
運用益収入	6,286
その他	4,304
経常支出 B	75,649
人件費	37,408
その他	38,241
経常損益 C = A - B	3,483
経常外収入	
経常外支出	
諸税	
当期損益	3,483

②財務状況 (24年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	86,658	14.3
固定資産	518,880	85.7
資産計	605,538	100.0
流動負債	1,970	0.3
短期借入金		
固定負債	15,231	2.5
長期借入金		
負債計	17,201	2.8
基本金	501,500	82.9
剰余金	86,837	14.3
正味財産計	588,337	97.2
負債・正味財産計	605,538	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	15,231	15,231	100.0%

【県の財政支出】

(千円)

	22年度	23年度	24年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	3,913	3,130	2,688	栽培漁業推進事業補助金ほか
委託費	8,985	14,504	7,400	種苗飼育等業務委託費、トラフグ稚魚生産育成放流等業務委託ほか
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	22年度	23年度	24年度	22-23増減	23-24増減
健全性	自己資本比率	%	98.00	97.62	97.16	△ 0.38	△ 0.46
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	8,939.34	3,265.63	4,398.88	△ 5,673.71	1,133.25
	経常収入額	千円	73,952	73,776	79,132	△ 176	5,356
効率性	剰余金（△欠損金）	千円	85,879	83,354	86,837	△ 2,525	3,483
	総資本利益率	%	△ 1.11	△ 1.92	0.58	△ 0.81	2.50
	職員1人当たり経常収入額	千円	5,689	6,148	6,594	459	446
	人件費比率	%	52.15	58.74	47.27	6.59	△ 11.47

2 経営目標の達成状況

経営目標			22年度	23年度	24年度	25年度
経営改善指標	県委託費（千円）	目標	5,000	5,000	5,000	5,000
		実績	8,985	14,504	7,400	
事業成果指標	種苗（アワビ）の提供（千個）	目標	73,000	73,000	73,000	73,000
		実績	80,002	84,570	75,042	
事業成果指標	種苗（クルマエビ）の提供（千尾）	目標	600	600	600	600
		実績	720	725	743	
顧客満足度指数		目標	5,000	5,000	5,000	5,000
		実績	5,558	5,536	4,773	
顧客満足度指数		目標	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

当法人は、アワビ種苗生産の不調から平成21年度から3期連続しての単年度赤字決算となっていたが、今期は4年ぶりに黒字に転換できた。

黒字要因としては、①アワビ種苗生産がまだ完全ではないものの生産数の回復が図られたこと、②復興支援事業として取り組んだ岩手県へのヒラメ種苗供給が順調にいったことが挙げられる。

今後は平成25年4月に県から譲与を受けたアワビ種苗施設を有効活用し、県内のアワビ需要についてはすべてこの施設から供給したい。

また、マダイ、ヒラメの放流効果実証事業については県からの補助金減少、漁業者からの放流協力金の減少の問題があるが、さらなるコスト縮減を図り、事業を継続していきたい。

本法人の経営環境は消費税率のアップ、電気料金の値上げが見込まれていることから、厳しさが増すものと考えられるものの、技術の研鑽に努めて良質な種苗を低コストで生産し、引き続き、当法人の設立目的である栽培漁業の推進に寄与してまいりたい。

4 総合評価（計算書類等の資料及びヒアリングによる評価）

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> ・国債利息収入の増加や復興支援事業として取り組んだ岩手県へのヒラメ種苗供給による受託事業収入の増加等により、経常収益は前年度に比べて5百万円増加した。また、臨時雇賃金の減少や完全ではないがアワビの生産数が回復したことによる種苗購入費の減少等により、経常費用は前年度に比べて9百万円減少した。 ・以上により、経常収支は前年度に比べて14百万円改善し、当期利益3百万円とH20年度以来の黒字を達成している。 	